

小林惟徳 こばやし だけい フランシス語學者。文政九年八月、山口伊勢國生れ、明  
治十一年六月一日没（八三七一七八）。通稱冊轉。號蘇往。善桑名藩士。  
野田海海の門に入り、専ら漢籍を修め、のち昌平政學所に入り、長崎  
の遊學、また村上天英に就き蘭學及びフランス學を學ぶ。文久元年幕  
府語所のフレンス語學教授となり、更に開成所教授、明治二年兵部  
省翻譯館員に任ぜられた。著「佛詩のルナーグー」、  
「佛詩雜話篇」、  
「佛詩會話篇」等の書がある。

